

五工場主ハ爭議團ニ金封ヲ支給スル。賃金五十円、貸金率内
 大職工ノ貸金ハ毎月收五十円以上ノ時少額宛返済スル。下
 七労資双方ハ誠意ヲ以ツテ今後紛擾ヲ起サズ様努メスル。下

以上

昭和五年九月二日

於免有警察署印

東京市外本田町原四三

小泉玄禪工場主 小泉仙次 (印)

東京市外本田町立石七三

爭議団代表 出口小一郎 (印)

調停官 西村肇 (印)

立合人 菱山勇正 (印)

労社第三〇三二第

昭和五年九月五日

警視總監 丸山鶴吉

5. 9. 8
 1653

内務大臣安達謙藏殿
 任會 局長

小泉玄禪工場労働爭議ニ関スル件

要旨リ九月二日爭議解決セルヲ以テ今日午後十時爭議団ヲ解散シ九月四日
 職工ハ入場式ヲ行ヒタリ

標記ノ件ニ関シテハ屢々申報ノ通ナルカ爭議団代表ハ解決状況
 ヲ爭議團員ニ報告シ九月三日午後九時爭議費用及手当金ヲ受領
 シ全十時解困式ヲ行ヒ解困セリ翌四日罷業職工ハ工場ニ入場
 式ヲ行ヒ工場主ハ礼装ヲ以テ之ヲ迎ヘ全ク解決スルニ至リタリ